

平成 30 年度 秦野総合高等学校 第 2 回学校運営協議会議事録

日時 平成 30 年 9 月 1 日(土) 11:00～12:00

場所 秦野総合高等学校小会議室

出席者 学校運営協議委員 7 名
校長、副校長、全日制教頭、定時制教頭、事務長、全日制総括教諭 2 名、
定時制総括教諭 2 名 (欠席者 学校運営協議委員 2 名)

司会 全日制教頭

次 第

1 開会

2 資料確認

3 校長あいさつ

コミュニティスクールの概要の説明、秦野市内の中学校等での取り組みの様子を紹介。

4 議題

(1) 定時制キャリア・ボランティア部会活動報告(定時制教頭)

7 月 24 日の神奈川県立西部総合技術校における施設・授業見学及び、8 月 27 日実施した高校周辺の通学路清掃活動について報告があった。

※次回は 10 月 26 日秦野駅から本校までの通学路の清掃予定。

(2) 学校評価部会活動状況報告(校長・全日制教頭)

- ・年度当初に設定した学校目標に沿った取り組みの様子、中間報告に対する評価部会での話の概要を報告した。

本校の地域貢献活動は部活動の生徒に頼っている傾向が大きく、一般の生徒をいかに巻き込んでいくかが課題である。一方、学校と社会をつなぐ調査では、高校 2 年生の実体験は大学生に生かされているという結果も出ている。

5 全体協議「学校と地域社会との接続について」

上記のテーマで、地域が高校に期待すること、高校のキャリア指導、他校の取り組みで参考になる点について意見交換を行った。

※以下、協議で出された意見やご指摘の内容を列挙する。

- ・駅と学校間の登下校時に、地域から見ている生徒の様子はとても生き生きしている。

- ・幼・小・中・高と揃った地域で、高校として何に取り組んでいるのかを、もっと積極的に発信をしてほしい。期待している。
- ・高校生のあいさつ運動など中学生が刺激を受けて小学生に対して実施している。
- ・部員数が減って合唱部が地域の行事に参加できないと伺った。寂しい気がする。
- ・丘のマラソン大会やのびゆくみんなの交流会など、高校生の力がないと運営できないくらい、高校生に頼っている。
- ・地域は学校の、学校は地域のそれぞれの行事が見えていない。地域の掲示板や学校の掲示板の活用が望まれる。
- ・通学路の清掃時などに作業中の立て看板のぼりを使用するなどもっと外部に向けてアピールしてもよいのではないか。
- ・大学生が教育体験で3名お世話になっている。大変ありがたい。
- ・大学で教員志望の生徒は多い。入学時に教員免許の取得希望が8～9割であったのが実際取得する学生は半数。受験する生徒はさらにその半数。スポーツで身を立てるにしても基礎学力が要求される。
- ・教員採用試験は教科によって倍率に差がある。小学校の教員希望も下がっている。
- ・職業に夢を持つことが大切である。体験を通して職業の大変さと同時にその魅力を知ることが重要である。
- ・高校の課題は大学の課題でもある。
- ・サポートティーチャーの活用を知りたい。
(校長)本校のサポートティーチャーはキャリア支援として進路室に常駐していただき、生徒の進路実現のサポートをお願いしている。教員経験者があたることが多い。
- ・施設見学や授業見学に参加した生徒は大変熱心であった。
- ・見ることは大切である。触れることはもっと大切である。体験したことが進路選択の参考になる。参加した生徒には仕事を理解してもらえたと思う。
- ・秦野総合高校は地域とうまくかかわっている。先日、秦野ロータリークラブでスピーチしていた生徒が、「私は〇〇になりたい。～」と将来の目標を明確に持っていたことが印象に残っている。
- ・幼・小・中・高と一貫した地域教育が、キャリア教育につながっている。
- ・清掃活動など行政の立場で役に立てることがあれば市としても協力していきたい。
- ・県立高校であっても秦野市内にある高校である。市が支援していくように、行政と連携をしてほしい。

(校長) 本校にあった方がよいと思われる学校設備を指摘していただき、必要なものは県に要望していきたい。この協議会の後、学校を回っていただきたい。

最後に運営委員のみなさまからお言葉をいただいた。

- ・かなテクカレッジの施設を活用していただきたい。
- ・学生がお世話になり、育てていただきありがたい。学生の活動が高校生のためになっていると大変うれしい。
- ・地域の活動や活躍を外部にアピールしていきたい。
- ・各種活動にPTAとして委員として協力していきたい。
- ・商工会としてお手伝いできることがあれば遠慮なく言っていただきたい。
- ・いい意味での変革をしていきたい。
- ・高校生の上位大会の報告を市に行い、アピールして行ってほしい。
- ・学校は市にとって核となる存在である。行政も協力していきたい。
- ・部活や高校のボランティア活動、行事など一緒にかかわっていきたい。
- ・高校生のいろいろな活動は地域のお年寄りも大変期待している。充実させて行ってほしい。

6 事務連絡

- ・各種部会、次回の運営協議会について
- ・文化祭の案内

7 閉会

以上